



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和8年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路法面对策工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

[illegible]

九州農政局

[illegible]

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
工事名	大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路法面対策工事

工事別工事名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策法面対策工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			26,880,000	
・工事原価			22,076,000	
純工事費			15,815,000	
・直接工事費			13,540,000	
・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式	13,540,000	
・ ・ ・ 直接工事費 (仮設工)	1.000	式	0	
・ 間接工事費			8,536,000	
・ ・ ・ 共通仮設費			2,275,000	
・ ・ ・ ・ 事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 運搬費～営繕費等				
$13,540,000 \times ((11.820 \times 1.200) \times 1.100 \times 1.000 \times 1.000)$			2,112,000	
・ ・ ・ ・ 運搬費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 準備費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 安全費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 役務費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 技術管理費	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 営繕費等	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 現場環境改善費			163,000	
・ ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費 (率計上)				
$13,540,000 \times (1.210)$			163,000	
・ ・ ・ ・ ・ 現場環境改善費 (積上)	1.000	式	0	
・ ・ ・ 現場管理費			6,261,000	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (率計上)				
$15,815,000 \times ((32.720 \times 1.100) \times 1.100 \times 1.000 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			6,261,000	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (積上)	1.000	式	0	
・ ・ ・ ・ 現場管理費 (一般管理费率対象外)	1.000	式	0	
・ ・ ・ 工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・ 官貸額 (直工)	1.000	式	0	
・ 官貸額 (事業損失防止)	1.000	式	0	
・ 官貸額 (直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・ 一般管理費等				
$22,076,000 \times (21.760 \times 1.000 + 0.04)$			4,812,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費 (直工・事業損失防止)			0	
支給品費 (直工)			0	
処分費等 (直接工事費の内数)			0	
処分費 (準備費の内数)			0	
処分費 (事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等 (率対象外)			0	

[illegible]

九州農政局

工事別工事名:大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策法面对策工事

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路法面对策工事

特別仕様書

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）及び九州農政局農村振興部制定「九州農政局土木工事共通事項書」（以下、「共通事項書」という。）

（URL：<https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/doboku/doboku.html>）に基づいて実施する。

なお、共通仕様書及び共通事項書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、国営大野川上流土地改良事業で造成された大蘇ダムの貯水池内浸透抑制対策工施工のための工事用道路法面对策を実施するものである。

2. 工事場所

熊本県阿蘇郡産山村大字山鹿地内

3. 工事概要

本工事の概要は次のとおりである。

大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路法面对策

内訳 モルタル吹付 A=2,000m²

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日としては、雨天・休日等15日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日及び年末年始休暇を含んでいる。

2. 施工しない日

原則、土曜日、日曜日及び夏季休暇。

3. 施工しない時間帯

原則、平日の午後5時から午前8時まで。

なお、気象条件等により上記の工事を施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

4. 現場技術員

本工事は、共通仕様書第1編1-1-9に規定している現場技術員を配置する。
氏名等については、別に通知する。

第4章 現場条件

1. 地質

本工事の施工場所の地質は、砂質土及び粘性土を想定している。

2. 関連工事

本工事に関連する工事として次に示す工事を予定しているので監督職員及び関連する工事の責任者と十分連絡、協議し、工事工程に支障が生じないように調整しなければならない。

令和8年度国営造成施設ストックマネジメント推進事業
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路工事（仮称）
（施工予定時期 令和8年7月～令和8年12月）

3. 第三者に対する措置

（1）騒音、振動対策

- 1）騒音、振動等の対策については十分に配慮するとともに、地域住民との協調を図り、工事の円滑な進捗に努めなければならない。
- 2）第三者との協議において対策を講じる必要がある場合には、本工事に騒音・振動調査を変更追加することがある。

（2）保安対策

交通誘導警備員の配置は計画していないが、条件変更等に伴い配置の必要性が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

第5章 指定仮設

1. 工事用道路等

村道を現場搬入道路として利用することとしている。

なお、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第6章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

発注者が確保している工事用地及び工事施工上必要な用地（以下「工事用地等」という。）は、図面に示すとおりである。

2. 工事用地等の使用及び返還

発注者が確保する工事用地等の使用に当たっては、工事施工に先立ち、監督職員と立会
いのうえ、使用条件等の確認を行わなければならない。

第7章 工事用電力

本工事に使用する電力設備は、受注者の責任において準備しなければならない。

第8章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は次のとおりである。

(1) セメント 高炉セメント（B種） JIS R 5211

(2) 木材

設計図書に木材の使用について指定していないが、任意仮設等において木材利用の
促進に留意しなければならない。

2. 見本又は資料提出

主要材料又は次に示す工事材料は、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員
に提出して承諾を得なければならない。

材料名	提出物
セメント	試験成績書
その他材料	カタログ又は試験成績書等

第9章 施工

1. 一般事項

(1) 検測又は確認（施工段階確認）

1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。

ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求め
た場合、これに応じなければならない。

工種	確認内容	確認時期・頻度	備考
モルタル吹付	厚さ	初期施工段階で1箇所	

2. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工種ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

3. 法面保護工

(1) モルタル吹付工

1) 施工範囲は、図面に示すとおりであり、No. 0～No. 2はアスファルト舗装面から盛土法尻までとし、No. 2～No. 8+5.84は法肩からアスカーブまでの範囲とする。

2) モルタル吹付の配合及びセメント空袋については、検測、確認を受けるものとする。

3) モルタル吹付の配合は下表を標準とする。

モルタル吹付の設計強度は15N/mm²以上を目安に試験練りを行って決定するものとする。

なお、これによらない場合は監督職員と協議しなければならない。

(1 m³当り)

水セメント比	セメント量 (C)	細骨材量 (S)	骨材の最大 寸法	適用
45%	420kg	1680kg	5mm	高炉セメントB種

4) 菱形金網（線径2.0mm、網目50mm又はこれと同等以上）は、主アンカーピン（φ16mm、L=400mm、100m²当たり30本）及び補助アンカーピン（φ9mm、L=200mm、100m²当たり150本）を使用し固定しなければならない。

なお、検測用丸鋼は補助アンカーピンのうちモルタル吹付面より1cm程度出したものを10m²に1本の割合で設けなければならない。

第10章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者又は監理技術者の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

（２）機器等の導入

- １）黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ２）受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

（３）黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- １）受注者は、（１）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ２）本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記１）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）６ 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- ３）黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

（４）写真の納品

受注者は、（３）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL（<https://www.jcomsia.org/kokuban>）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

（５）費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第 11 章 天災その他不可抗力

天災その他不可抗力による損害は、請負契約書第 30 条によるものとする。

第 12 章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図面等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は次のとおりである。

- (1) 地質（または土質）
- (2) 湧水等の出現
- (3) 第三者との協議結果に伴って変更が生じた場合
- (4) その他

第 13 章 その他

1. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書第 1 編 第 1 章 1－1－39 に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD－R、DVD－R 又は BD－R） 正副 2 部

2. 令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家の就労機会の確保について

- (1) 受注者は、工事の施工に当たっては、効率的な施工に配慮しつつ、被災地域における被災農林漁家の就労希望者を優先的に雇用するよう努めるものとする。なお、被災地域における被災農林漁家を雇用した場合は、月毎の被災農林漁家の雇用実績人数を提出すること。
- (2) 発注者は、被災農林漁家の雇用実績を確認した場合は、工事成績評価別紙 7 に示す「6. 社会性等」に、次の評価項目を追加した上で最大 7.5 点を加点評価する。但し、工事成績評価の合計は 100 点を超えないものとする。

〔事業（務）所長〕

【被災農林漁家の就労機会の確保】

- ☐ 令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家を雇用した。
- ☐ 令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家を複数名又は長期に渡って雇用した。
- ☐ 令和 6 年 9 月 20 日からの大雨の被災地域における被災農林漁家を複数名、長期に渡って雇用した。

第 14 章 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項又は、この工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

「別紙」

令和 8 年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業

大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路法面对策工事

工 事 数 量 表
【当初】

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

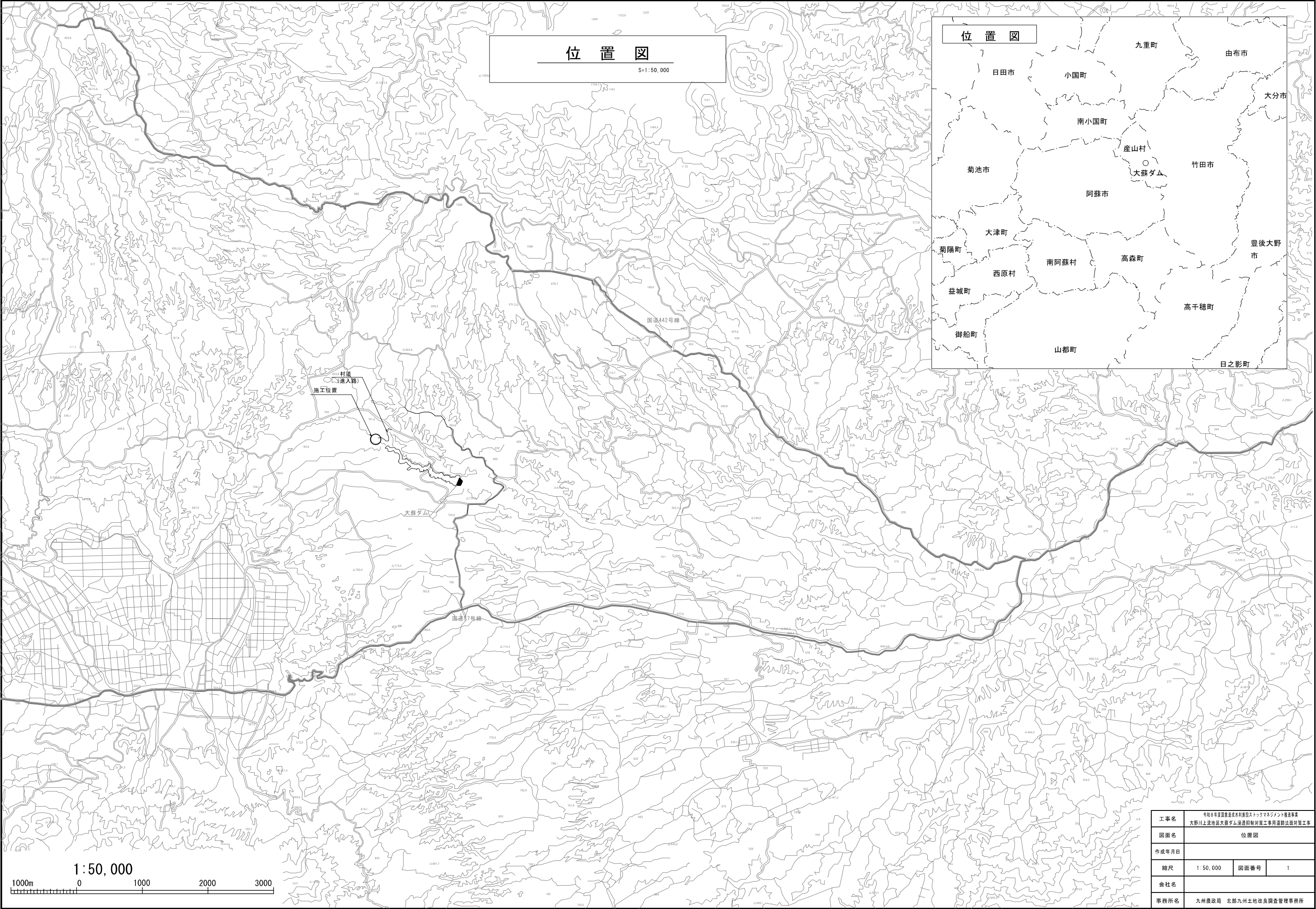
工 事 数 量 表

[illegible]

令和8年度国営造成施設ストックマネジメント推進事業
大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路法面对策工事

契約図面

令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大蘇ダム浸透抑制対策工事用道路法面对策工事			
図面目録			
図面番号	名称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	全体計画平面図	1	
3	工事用道路法面对策工計画平面図	1	
4	法面保護工計画横断図	6	
計		9	



位置図

S=1:50,000

位置図

日田市

小国町

九重町

由布市

大分市

南小国町

産山村

大森ダム

竹田市

阿蘇市

大津町

菊陽町

西原村

南阿蘇村

高森町

豊後大野市

益城町

高千穂町

御船町

山都町

日之影町

村道

大森ダム

施工位置

国道442号線

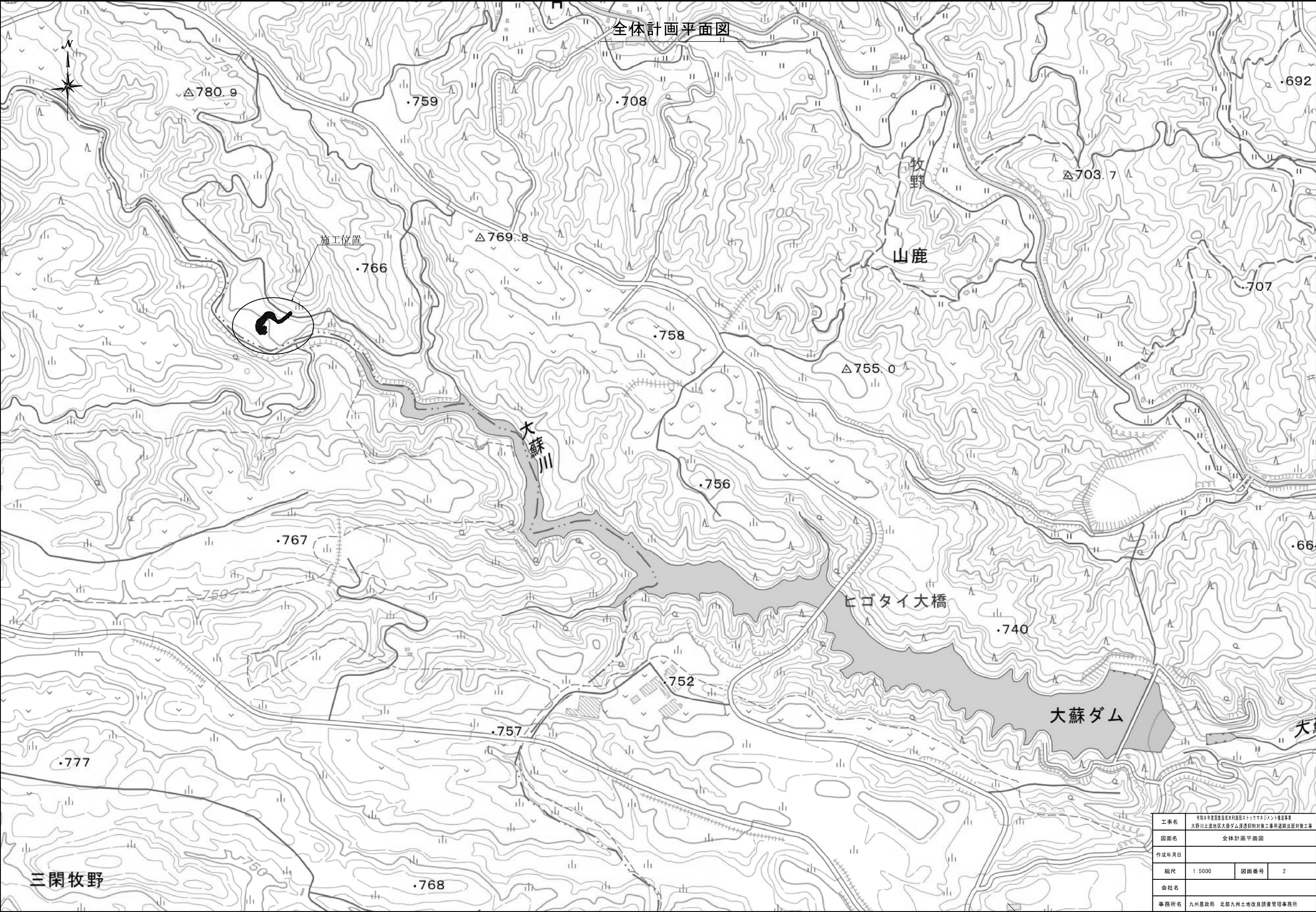
国道97号線

大森ダム

1:50,000

1000m 0 1000 2000 3000

工事名	令和8年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大森ダム浸透抑制対策工事用道路法面対策工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	1:50,000	図面番号	1
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		



全体計画平面図

施工位置

大蘇川

牧野

山鹿

ヒゴタイ大橋

大蘇ダム

三閑牧野

工事名	令和8年度国土形成・水利用・ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大蘇ダム選定抑制対策工事用道路法面対策工事		
図面名	全体計画平面図		
作成年月日			
縮尺	1:5000	図面番号	2
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

工事用道路法面对策工計画平面図

S = 1 : 500

吹付範囲

点名	X	Y	Z
No.0	723.70	16248.51	715.08
No.1	708.42	16235.61	712.38
BC.2	693.77	16223.23	709.50
BC.3	689.16	16222.69	709.40
SP.1	684.60	16214.60	708.27
EC.1	680.21	16204.71	707.05
BC.4	680.47	16204.34	706.99
EC.2	684.35	16196.96	705.73
SP.2	687.68	16190.64	704.87
No.4	685.69	16185.67	704.33
EC.3	685.69	16185.67	704.14
BC.3	680.27	16172.85	702.30
No.5	686.83	16167.80	701.56
SP.3	685.90	16165.63	701.00
EC.3	684.57	16163.71	699.96
No.6	687.98	16164.52	698.96
EC.4	680.41	16165.46	697.82
SP.4	682.84	16167.91	696.98
No.7	680.07	16171.60	696.34
BC.4	649.14	16173.06	696.13
SP.5	642.26	16185.44	694.01
No.8	640.78	16189.25	693.52
SP.5	639.58	16190.41	693.38
EC.5	640.66	16195.67	692.74
BC.6	642.54	16205.06	691.30
SP.6	642.72	16205.95	691.17
EC.6	643.01	16206.83	691.08
No.9	643.67	16208.85	690.78
BC.7	646.32	16216.85	689.52
SP.7	648.06	16221.84	688.63
EC.7	651.54	16226.36	687.81
No.10	651.95	16226.87	687.78
BC.8	663.09	16240.31	685.11
SP.8	663.09	16240.56	685.06
EC.8	663.28	16240.81	685.02
No.11	664.50	16242.45	684.78
BC.9	668.14	16247.32	683.78
SP.9	669.09	16248.76	683.54
EC.9	669.87	16250.31	683.28
No.12	674.04	16259.90	681.78
BC.10	675.04	16262.20	681.33
SP.10	675.21	16262.56	681.27
EC.10	676.38	16262.82	681.27
BC.11	679.33	16270.82	679.90
SP.11	679.46	16271.10	679.84
EC.11	679.59	16271.38	679.84
No.13	682.56	16277.99	678.71
EP.	684.30	16281.88	678.07

吹付範囲

工事名	令和4年度国土交通省大分県道路ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大森ダム浸透抑制対策工事用道路法面对策工事		
図面名	工事用道路法面对策工計画平面図		
作成年月日			
縮尺	1:500	図面番号	3
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

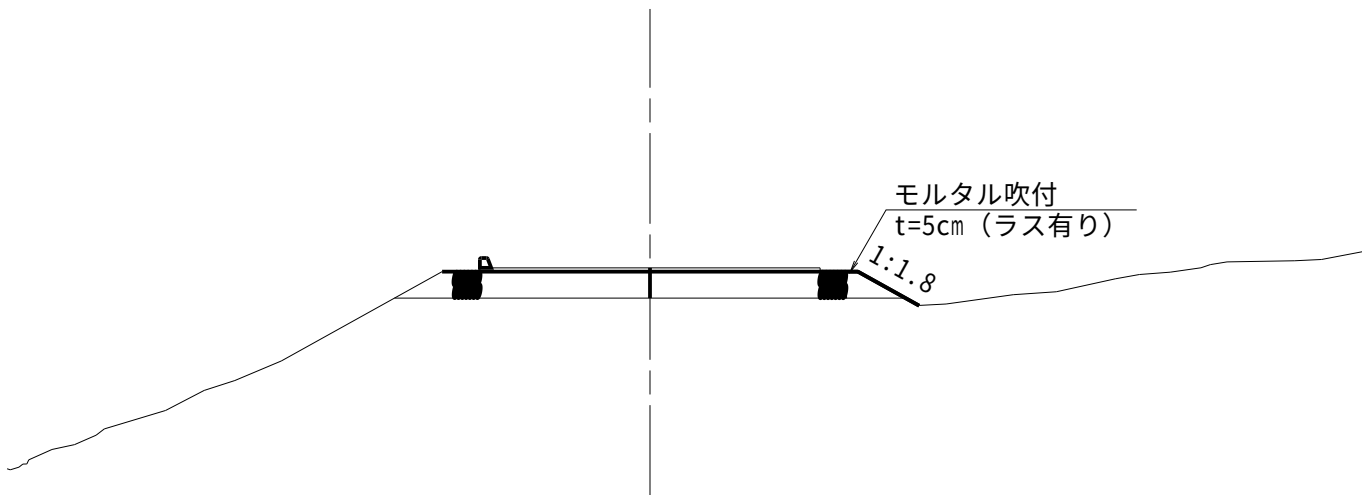
法面保護工計画横断面図(1/6)

S = 1 : 100

NO.1

GH=711.73

FH=712.38

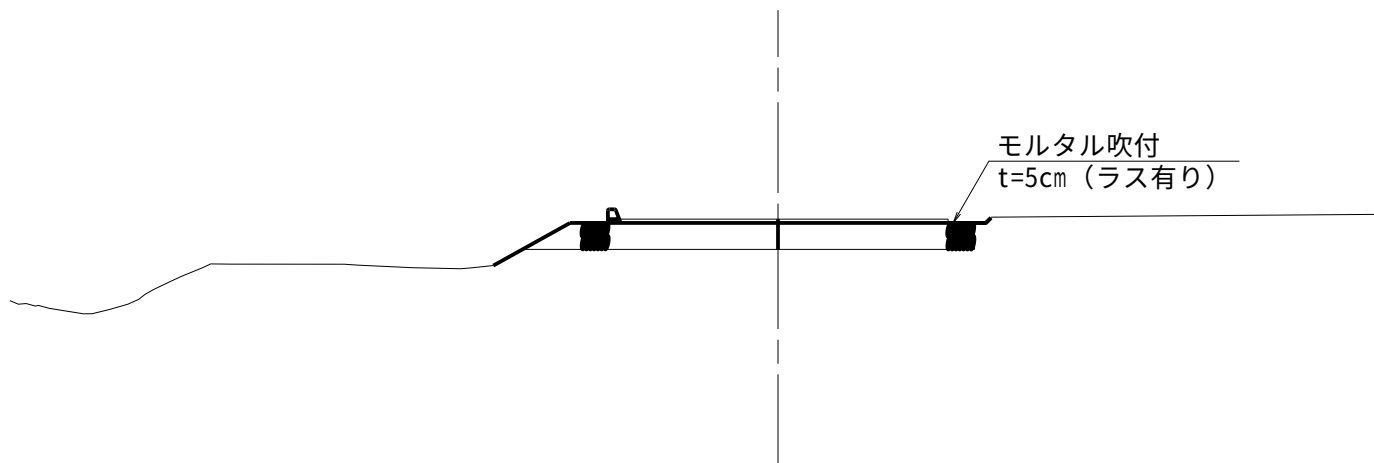


DL=705.00

(BP)

GH=715.06

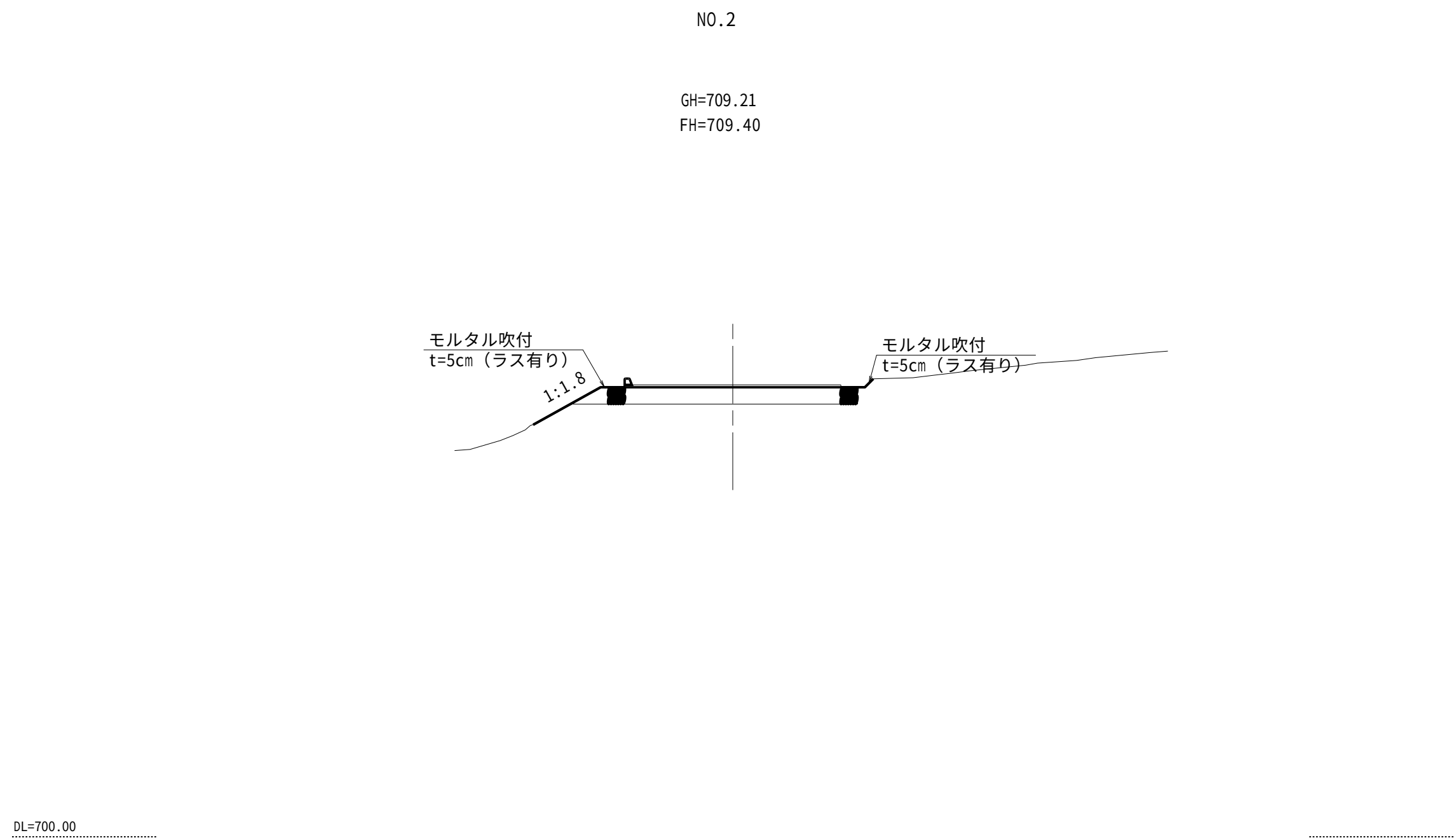
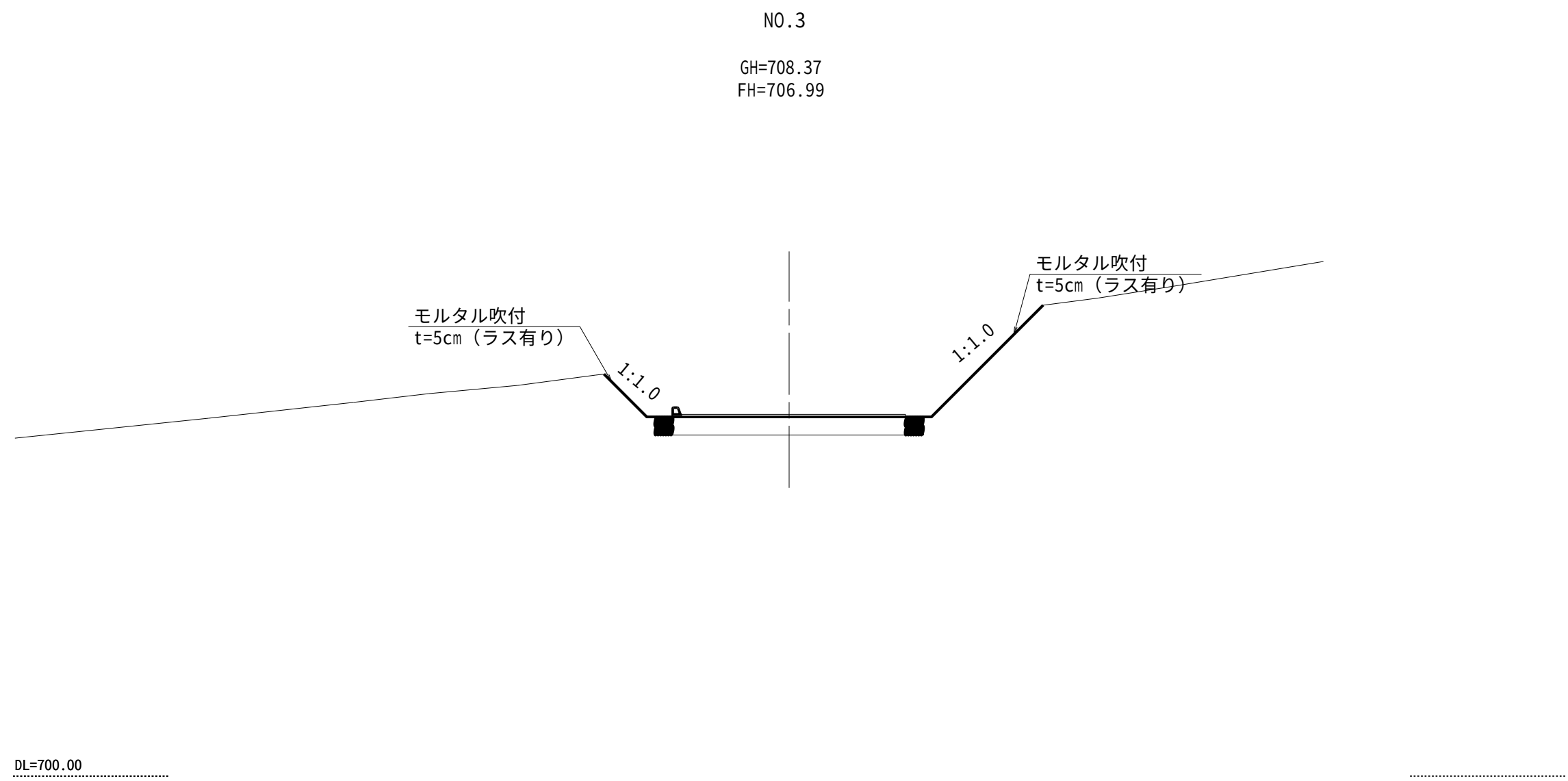
FH=715.08



DL=710.00

工事名	令和3年度国土形成水利用施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大藤ダム浸透抑制対策工事に伴う道路法面対策工事		
図面名	法面保護工計画横断面図(1/6)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-1/6
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

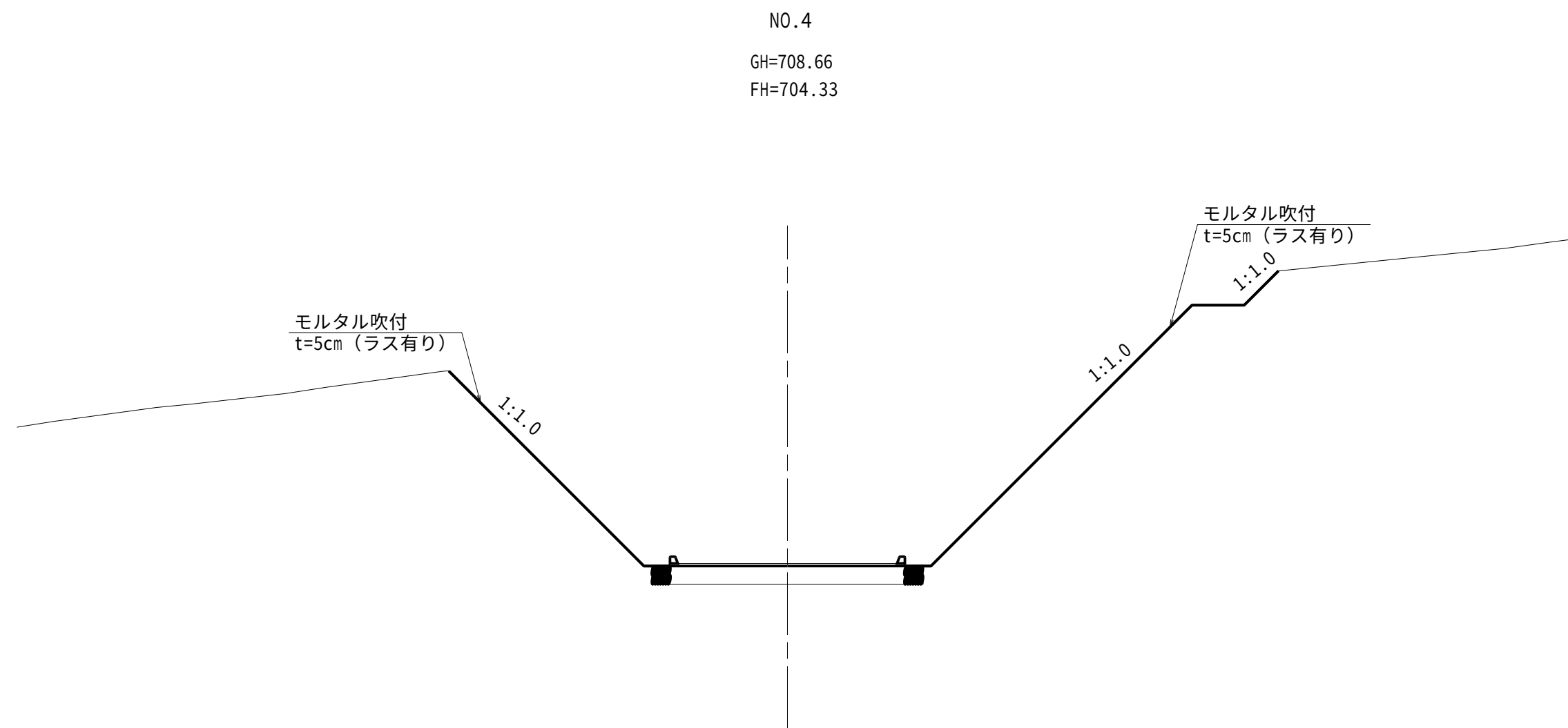
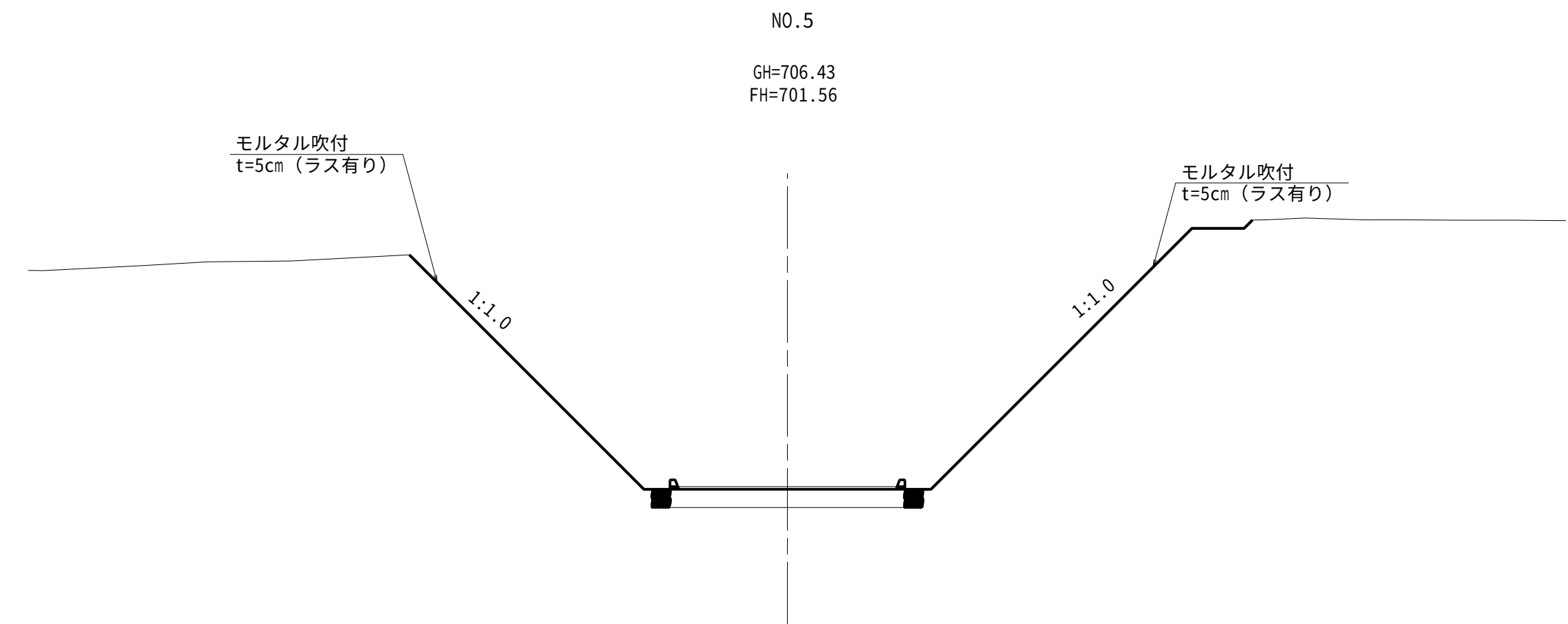
法面保護工計画横断図(2/6)
S = 1 : 100



工事名	令和3年度国営造成水利用施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大藤ダム浸透抑制対策工専用道路法面对策工事		
図面名	法面保護工計画横断図(2/6)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-2/6
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

法面保護工計画横断面図(3/6)

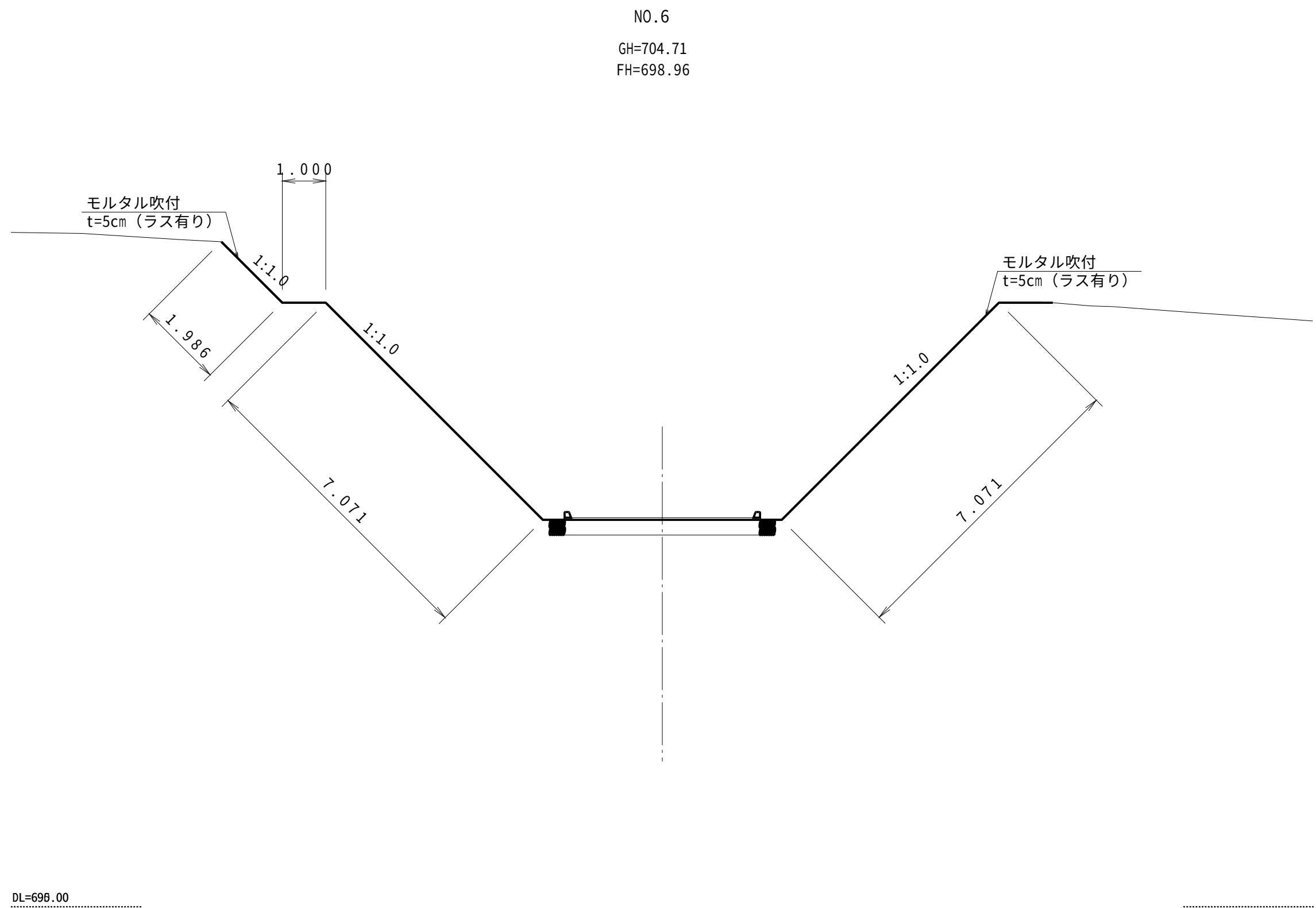
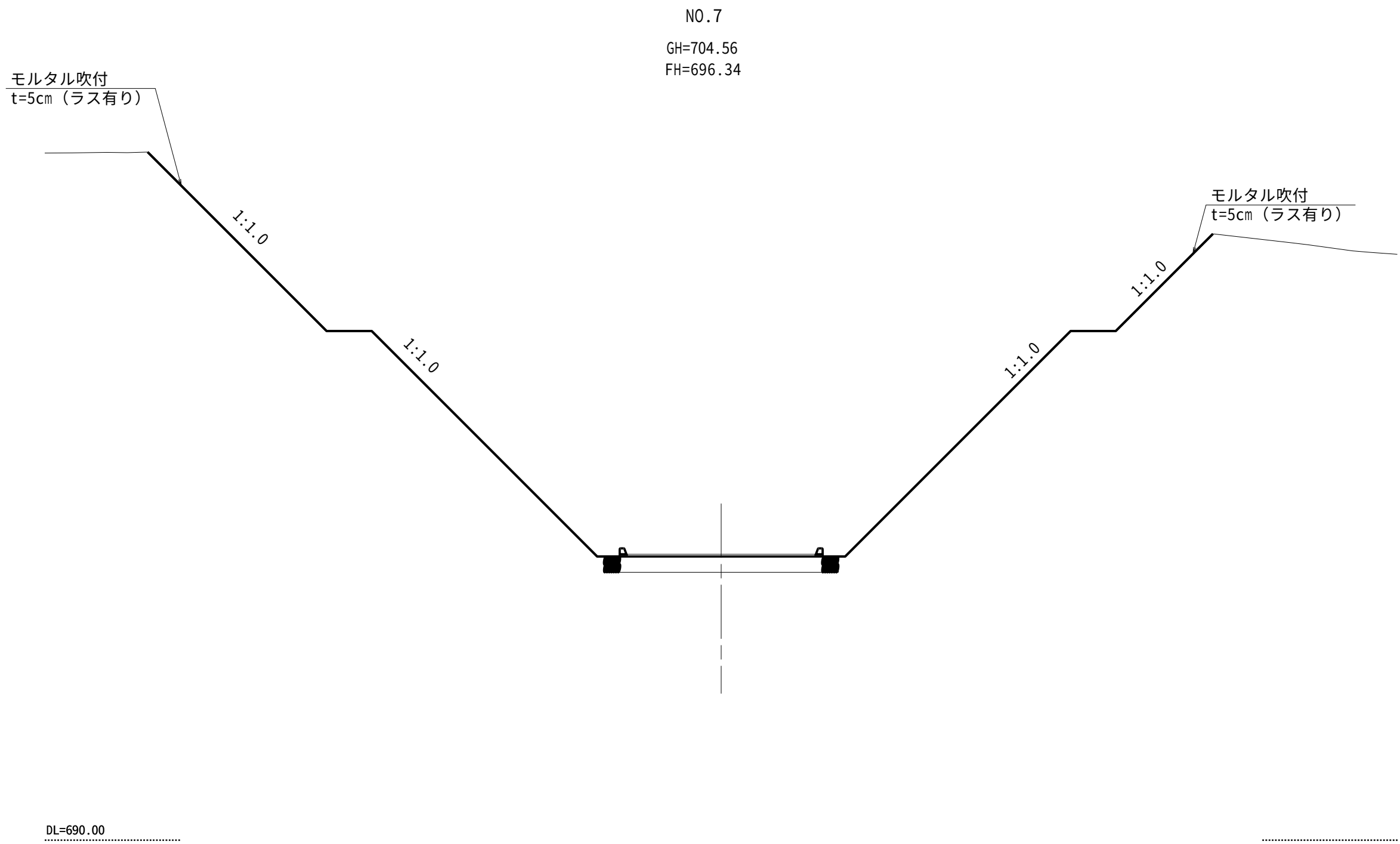
S = 1 : 100



工事名	令和3年度国土形成水利用施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大藤ダム浸透抑制対策工事に伴う道路法面对策工事		
図面名	法面保護工計画横断面図(3/6)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-3/6
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

法面保護工計画横断面図(4/6)

S = 1 : 100

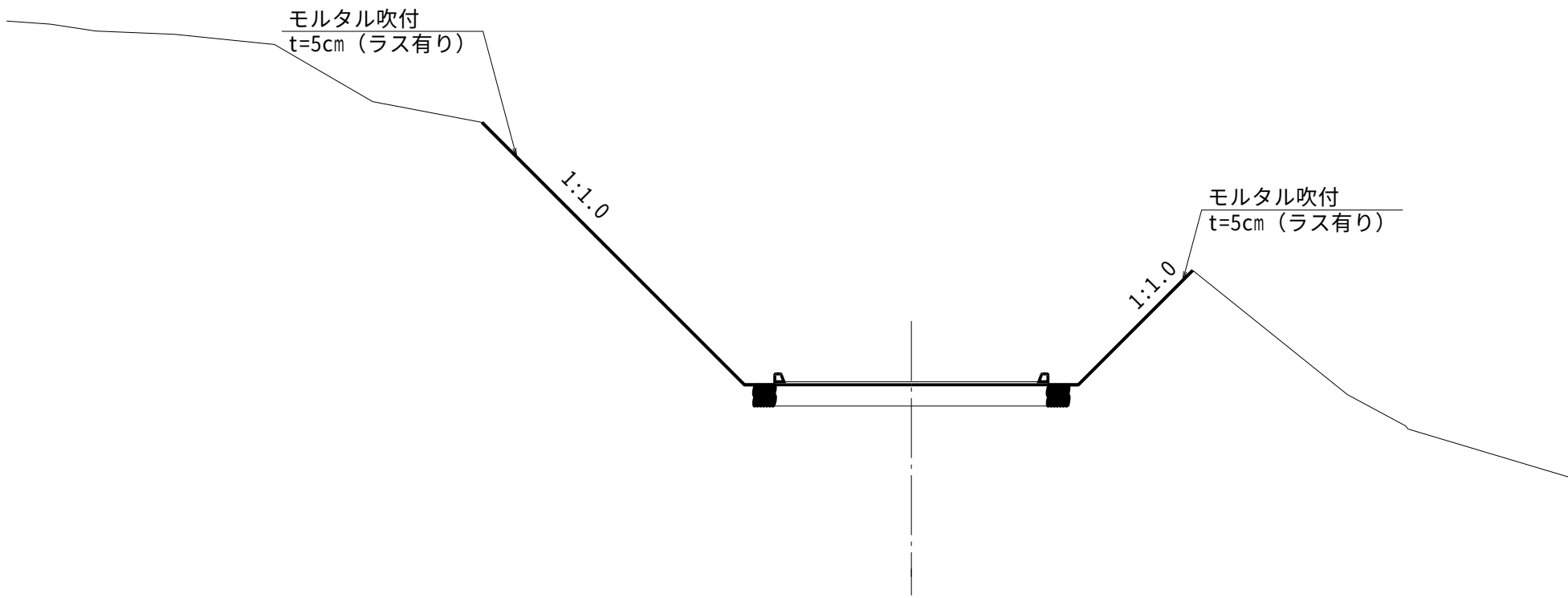


工事名	令和3年度国土形成水利用施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大藤ダム浸透抑制対策工事に伴う道路法面对策工事		
図面名	法面保護工計画横断面図(4/6)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-4/6
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

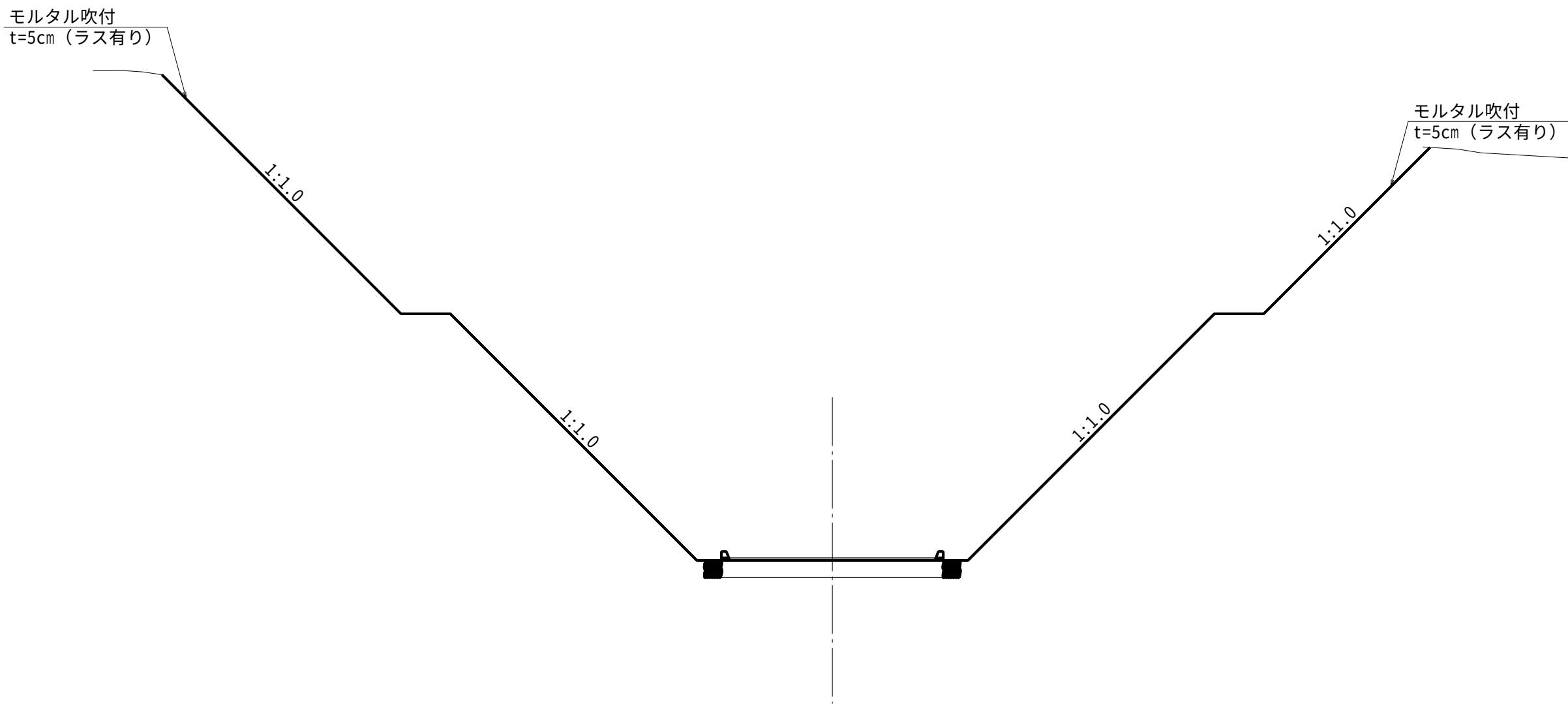
法面保護工計画横断図(5/6)

S = 1 : 100

NO.8
GH=698.87
FH=693.52



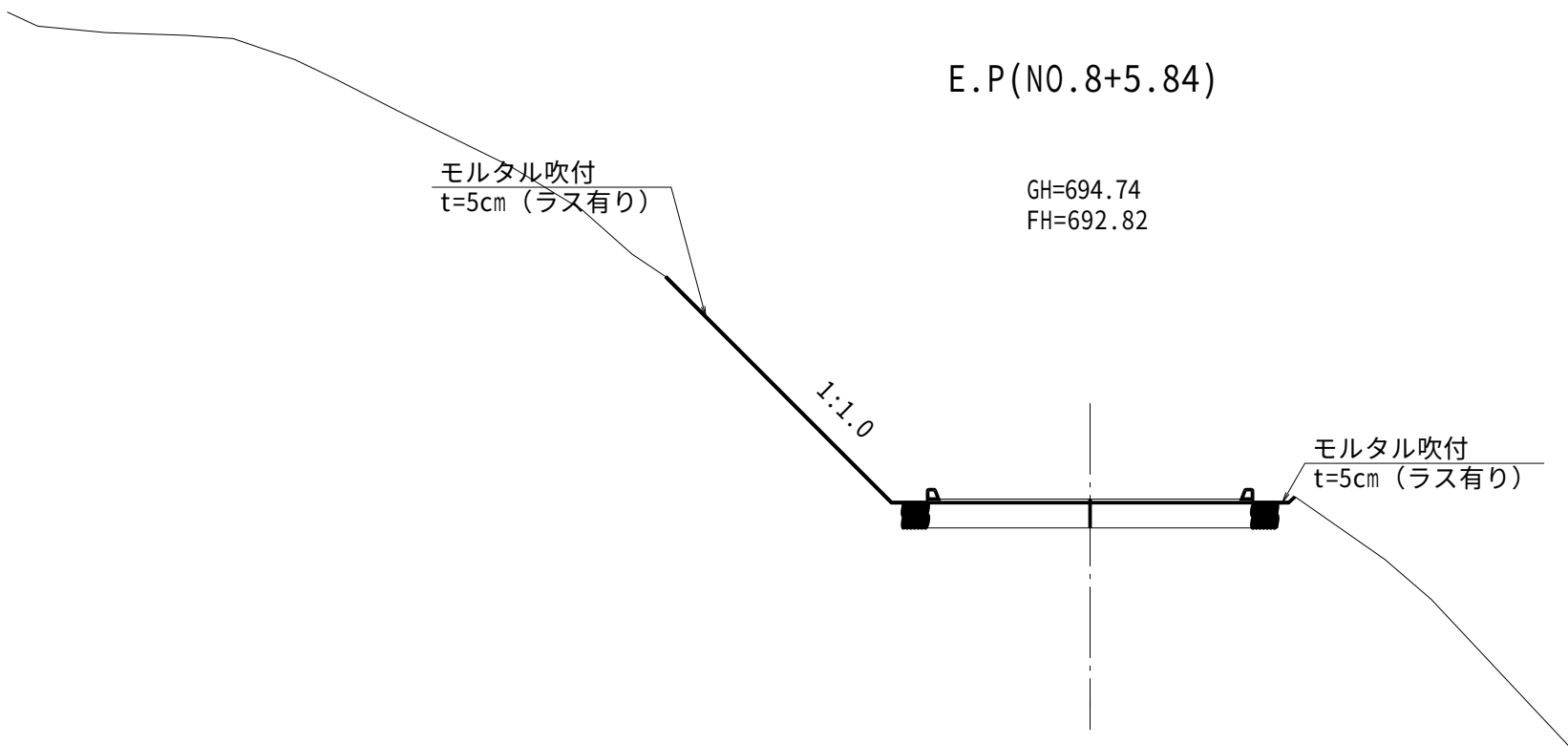
NO.7+8.25
GH=704.53
FH=695.10



工事名	令和3年度国土形成水利用施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大藤ダム浸透抑制対策工事に伴う道路法面対策工事		
図面名	法面保護工計画横断図(5/6)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-5/6
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		

法面保護工計画横断図(6/6)

S = 1 : 100



工事名	令和3年度国土形成水利用施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区大藤ダム浸透抑制対策工事に伴う道路法面対策工事		
図面名	法面保護工計画横断図(6/6)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4-6/6
会社名			
事務所名	九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所		